

第21回市民公開漢方セミナー開催

2018年10月29日(月)四谷区民ホールにおいて、
第21回 市民公開漢方セミナー「理解してほしい、漢方・生薬製剤の知識」が開催された。
講師として、薬剤師の八木多佳子先生が登場した。
講演は、漢方・生薬製剤に対する一般の皆様からの疑問や不安に答えてきた、
豊富な経験を基にしたものであった。
噛んで含めるような語り口調に、幅広い年齢層の聴講者は熱心に聞き入っていた。

司会進行の羽田沙織さんの紹介で、日漢協の中嶋洋一副会長が開会のあいさつを行った。
本年5月厚労省が発表した「2040年を見据えた社会保障の将来見通し」を引用し、
全人口に占める高齢者の割合がさらに高まる中、保険・医療資源の観点からも、
漢方製剤・生薬製剤のより一層の発展と育成が必要である旨を述べた。



第21回市民公開漢方セミナー
参加費無料
理解してほしい、漢方・生薬製剤の知識
漢方は効果を得るまでに時間がかかる、効くか効かないかわからない、値段が高いのでは...
など、漢方薬に様々な疑問をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。
今回のセミナーでは、たくさんのお客さんの疑問に漢方に答えてきた漢方師の先生が、自分に合った漢方薬選び、「飲み方のコツ」などを中心に、皆様の気持ちに寄り添ってお話しします。

「めまい」はなぜ？
「めまい」がとれない...!?
「めまい」がつかない!?
漢方で「癒せる」!?
誰もが関心「アンチエイジング」

日時 2018年10月29日(月) 午後6時30分～8時(開場/午後5時)
会場 四谷区民ホール
講師 八木多佳子先生(薬剤師)/(公社)日本漢方協会 薬用製剤・漢方委員
進行 羽田沙織(フリーアナウンサー)

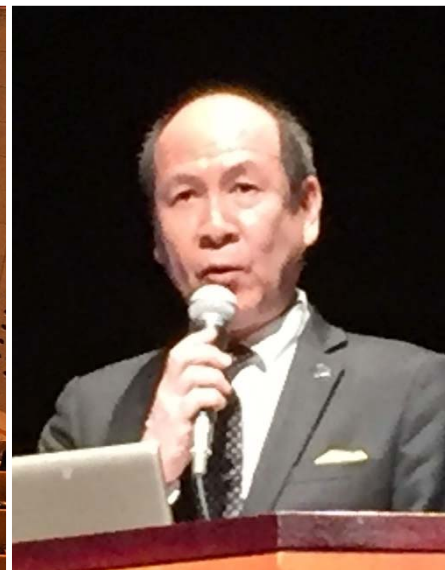
※参加費無料
※講師は講師です。講演料には、お礼状を兼ねたお礼状を必ずお送りください。
※申し込みの
2018年10月29日(月) 18時(締め切り)まで、お申し込みください。お申し込みは、お申し込みフォームから、お申し込みください。
※申し込みの
お申し込みの
お申し込みの
お申し込みの

日漢協 JAPAN KAMBO MEDICINES MANUFACTURERS ASSOCIATION (JKMA)
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 日本橋本町1丁目1番1号 日本橋本町ビル3F
TEL: 03-4394-2324 FAX: 03-4394-2324
http://www.jkma.or.jp/

セミナー案内パンフレット



会場の様子



開会挨拶
(日本漢方生薬製剤協会 中嶋洋一 副会長)

八木先生の講演では、はじめに健康や漢方薬の基本的知識について示した後、「自分に合った漢方薬選び」と「漢方薬を効かせるコツ」について解説を進めた。

漢方を選ぶ際の3つの条件として、普段の体力・今の体質と体調・飲む目的の症状をあげ、各処方 of 効能効果の記載をよく見て選ぶことの重要性について説明した。

また、実例として相談の多いお悩みベスト5である肥満・疲れ・アンチエイジング・つらい痛み・めまいを取り上げ、各症状に対する漢方処方の使い分けを、3つの条件を指標で紹介した。



講師：八木 多佳子 先生



司会：羽田沙織アナウンサー

次に、漢方薬を効かせる飲み方として、お湯、はちみつ、お酒などによる効かせる溶かし方や、効果がでる時期と飲む期間について説明した。
また、漢方薬を効かせる体作りとして、発酵食品や乳酸菌を多く含む日本食を積極的に摂取する「腸活」や、36～37℃の白湯で少しずつ水分を取ること、そして、季節に応じた生活のポイント、飲物や防寒への気配りで体を冷やさないことの大切さを伝えた。

最後に、お悩み相談のひとつの選択肢として薬局があること、またその際には漢方薬を選ぶにあたり詳細な問診があることへの理解を呼びかけ、講演を締めくくった。

受付フロアでは、一般用漢方製剤委員会と生薬製剤委員会が、薬局等で市販されている漢方・生薬製剤の製品展示を行った。今年も、講師の八木先生が薬局で製造された丸剤や、含有量の違いを明示した一般用漢方製剤の展示が加わり、例年に比べ、多くの来場者が展示コーナーに立ち寄る姿が印象的だった。セミナー後も、展示に見入ったり、熱心に質問をする方が多く見られ、生活者に漢方薬をより身近に感じていただく良い機会となった。



展示コーナーの様子

